

全国 私立大学附属・併設 中学校・高等学校が一同に介し日本の中等教育の未来について語る 「第20回 附属校サミット」開催のご案内

全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会（通称：附属校サミット）実施連盟は、11月20日・21日の両日にわたり、「第20回附属校サミット」を開催します。

この研究集会は、日本の中等教育をリードすることを目指す、全国の私立大学附属・併設 中学校・高等学校 教育研究集会として1996年に第1回目を開催し、今年で20回目を迎えます。毎年、全国70校近い同連盟加盟校を中心に、約200名の教員が集まります。

今年のテーマは、「Creative Learners が育つ未来型思考への挑戦」で、2014年秋に移転し新しい長岡京キャンパスでの活動をスタートした立命館中学校・高等学校（京都府長岡京市）で開催します。

1日目の特別記念講演には、株式会社 堀場製作所 代表取締役会長兼社長の堀場 厚 氏を 講師に迎えます。この日開催される分科会では、「ICT教育」や「小中高一貫教育」、「課題研究」、「科学教育」、「英語教育」などをテーマに取り上げます。また、2日目はワークショップ形式で、文部科学省初等中等教育局からも講師をお迎えし、実践的な教育について検討します。

記

日 時：2015年11月20日(金)9:30~19:30、21日(土)9:00~12:45

場 所：立命館中学校・高等学校（京都府長岡京市）

内 容：別紙

対 象：教育関係者

申込み：FAX 075-813-8219（学校法人立命館一貫教育部内）

※所定の申込用紙を附属校サミットホームページよりダウンロード

<http://www.ritsumeit.ac.jp/ikkan/summit/>

参加料：連盟加盟校は無料、それ以外は5,000円

主 催：全国私立大学附属・併設中学校高等学校教育研究集会実施連盟

以上



【本件に関する報道関係者様からのお問合せ先】

立命館大学 PR 事務局（株式会社イニシャル内） 担当：西田・園部・川上

TEL：03-5572-6316 FAX：03-5572-6065

MAIL：ritsumeit_PR@vectorinc.co.jp

別紙

(講師等の皆さまのお名前について、敬称略とさせていただきます)

11月20日(金)

時間	内容	場所
9:30-	受付	
10:00-10:30	開会行事 連盟会長挨拶・開催校挨拶	清和会記念 ホール
10:50-11:40	研究授業 教科 授業担当者 担当クラス(人数) ○ 国語 内田 剛 G12-3(42) ○ 社会(歴史) 田中 京平 G10-1(41) (地理) 加藤 敦史 G7-6(21) ○ 数学 鳥島 裕之 G11-7(38) 越智 規子 G7-5(20) ○ 理科(物理) 栗木 久 G11-4(33) ○ 英語 武田 菜々子 G12-6(35) 松尾 由紀、Wesley Armstrong G8-6(21) ○ 芸術(美術) 米永 忠裕 G7-7(33) ○ 保健体育 中村 圭吾 G8-1, 3, 5, 7 男子	329 教室 G9-3 HR G9-4 HR G9-7 HR G9-5 HR G9-2 HR G9-8 HR G9-6 HR 美術教室 2 第1アリーナ
11:45-13:00	昼食・休憩 当日、教室棟5階 瑞兆軒 にて、呈茶をおこないます。 (11:50 ~ 本研究教育集会実施連盟 総会 於 瑞兆軒)	カフェテリア 瑞兆軒
13:00-14:00	特別記念講演 堀場 厚(株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長) 「京都の企業は、なぜ独創的で、グローバルなのか？」	清和会記念 ホール
14:00-14:20	研究テーマ解説 「Creative Learners が育つ未来型思考への挑戦」についての解説 立命館中学校・高等学校総務部長 小笹 大道	清和会記念 ホール
	休憩・移動	
14:30-15:20	各教科授業研究会 午前中の授業について、授業者からのコメントと参加者からの助言	校内各会場
	休憩・移動	
15:30-17:30	分科会(下記のテーマによる分科会) ----- (A1) 小中高一貫教育のグランドデザイン(12年間の教育像) 立命館小学校・中学校・高等学校校長 成山 治彦 ----- (A2) 立命館小学校のICTとモジュール体験(ワークショップ) 立命館小学校教諭 六車 陽一 立命館小学校教諭 岩崎 純子	校内各会場

	<p>(A3) 課題研究の取組みに学ぶ</p> <p>○基調講演 大谷大学文学部教授、元京都市立堀川高等学校校長 荒瀬 克己</p> <p>○立命館高等学校での実践 立命館中学校・高等学校副校長 蔭山 成利</p>	
	<p>(A4) 高大連携の取組み</p> <p>○立命館学園における高大連携・高大接続教育方針 学校法人立命館一貫教育部副部長 大西 智文</p> <p>○立命館大学と附属校の「法教育」の取組み 立命館中学校・高等学校教諭 加賀山万理子</p>	
	<p>(A5) 次世代の科学教育を目指して ～SSHの取組みから見えてくるもの～</p> <p>○基調講演 中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究センター教授 井上 徳之</p> <p>○名城大学附属高等学校での実践 名城大学附属高等学校教頭 岩崎 政次</p> <p>○立命館高等学校での実践 立命館中学校・高等学校 SSH 推進機構長 鳥島 裕之</p> <p>○科学教育、私学が果たす役割 学校法人立命館一貫教育部部長 田中 博</p>	
	<p>(A6) これからの学校が目指すべき姿 (英語教育を中心に)</p> <p>○基調講演 文部科学省初等中等教育局視学官 太田 光春</p> <p>○立命館宇治高等学校での実践 (IB、SGH) 立命館宇治中学校・高等学校国際主幹 平田 敏之</p>	
	移動	
17:45-19:30	懇親会 (任意参加)	カフェテリア

11月21日(土)

時間	内容	場所
9:00-	受付	
9:30-10:45	<p>Active Learning ワークショップ (分散会)</p> <p>(B1) 小中一貫教育で目指すもの ～法制化後の具体的実践論～ 文部科学省初等中等教育局教育制度改革室室長補佐 武藤 久慶</p> <p>(B2) 教育現場におけるプレゼンテーションの極意 エバンジェリスト・日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 西脇 資哲</p> <p>(B3) 求められる学力とその指導・評価 京都大学大学院教育学研究科准教授 石井 英真</p> <p>(B4) ICTを活用した英語教育のあり方 「ICTをインフラとして使う大学英語授業 ～プロジェクト発信型英語プログラム挑戦の軌跡～」 立命館大学生命科学部准教授 木村 修平</p>	校内各会場

	移動	
11:00-12:15	生徒発表 ① SSH・SGHのポスターセッション ② 生徒作成のポスター掲示 ③ 生徒作成の映像放映	2階 センターアトリウム
11:20-12:00	11:20より以下の生徒ステージ発表 ① 学校生活におけるセルフ・マネジメントの実践 ② Japan Super Science Fairでの研究成果発表 ③ Ritsumeikan Volunteer Information Officeの活動報告 ④ プロダクトデザイン（地域連携）の活動報告	1階 センターフォーラム
12:20-12:40	全体会 ① 各教科授業研究会のまとめ ② 各分科会のまとめ ③ 意見交換・交流	清和会記念 ホール
12:40-12:45	閉会行事・事務連絡	